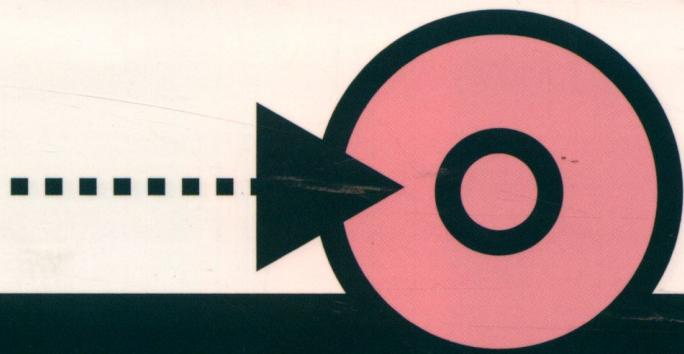


CD2枚付き



合格できる

日本語能力試験

N²

浅倉 美波

瀬戸口 彩

山本 京子



練習問題+総復習問題で
確実に実力アップ

Steadily improve your abilities with
practice and review problems

以练习问题+总复习问题，来稳步提高实力

연습문제 + 총정리 복습문제로
확실하게 실력 향상

Tăng khả năng một cách xác thực bằng
các bài tập luyện tập và bài tập ôn luyện
tổng hợp



ボリュームたっぷり、
例題663問掲載

Contains lots of example problems
—663 questions!

刊有663道问题，容量充足

예제가 한 가득,
663개의 예문 수록

Tuyển tập 663 câu ví dụ

アルク
www.alc.co.jp



合格できる

日本語能力試験

N²

はじめに

1984年に始まった日本語能力試験は、2010年から形式が大幅に変更されることになりました。これまでの1級から4級までのレベルは、N1からN5までの5段階のレベルになります。

今までの日本語能力試験の2級と3級については、レベルの差が大きいという問題がありました。新しい試験では、2級と3級の間にもう一つN3というレベルを設けました。つまり、今までの2級レベルが二つに分かれたわけです。

この問題集は、今までの2級のレベルと同じという、新試験のN2のレベルに対応して作られました。ただ、新試験のN2レベルはこれまでの2級レベルと変わらないということですが、1級に近い2級ということで、全体的に以前よりやや難しくなっているように思います。この問題集でも、N3レベルとの違いを考えて、問題を作っています。

新しい日本語能力試験は始まったばかりです。私たちは、『新しい「日本語能力試験」ガイドブック』(国際交流基金、日本国際教育支援協会)を参考に、この問題集を作りました。新試験はこれから変わっていくとは思いますが、新しい日本語能力試験がどのような試験なのかわからなくては、試験を受ける皆さんには不安でしょう。私たちはこの問題集を、そんな不安を少しでも軽くすることができたらという思いで作りました。

この問題集が少しでも皆さんの勉強の助けになれば、うれしく思います。

2010年5月

ちょしゃいちどう
著者一同

目 次

はじめに	3
日本語能力試験 改定の概要	6

第 1 部

練習問題

11

言語知識

13

問題 1 文字 漢字の読み	16
問題 2 文字 表記	22
問題 3 語彙 語形成	28
問題 4 語彙 文脈規定	46
問題 5 語彙 言い換え類義	52
問題 6 語彙 用法	58
問題 7 文法 文法形式の判断	68
問題 8 文法 文の組み立て	74
問題 9 文法 文章の文法	78

読 解

85

問題 10 読解 内容理解 (1)	88
問題 11 読解 内容理解 (2)	94
問題 12 読解 統合理解	100
問題 13 読解 主張理解	110
問題 14 読解 情報検索	120

聴解

131

問題1	聴解 課題理解.....	134
問題2	聴解 ポイント理解.....	139
問題3	聴解 概要理解.....	143
問題4	聴解 即時応答.....	144
問題5	聴解 統合理解.....	145

第2部

総復習問題

149

言語知識・読解

150

聴解

176

Column

- 1 漢字の読みと意味 21
- 2 音読みと訓読み 27
- 3 和語と外来語 51
- 4 和語と漢語 57
- 5 ゆれる日本語1 67
- 6 ゆれる日本語2 73
- 7 ホンネとタテマエ 130

日本語能力試験 改定の概要

● 改定のポイント

日本語能力試験は、日本語を母語としない人の日本語能力を測る、世界最大規模の試験です。平成 21 年度から年 2 回実施されています。平成 21 年度の第 1 回は 28 万人以上、第 2 回は 61 万人以上が応募し、応募者の合計は 90 万人を超えるました。

この日本語能力試験が 2010 年度から改定されます。ここでは、2009 年 7 月に公表された『新しい「日本語能力試験」ガイドブック』をもとに、改定の概要について N2 を中心に見ていきましょう。

新しい日本語能力試験は、これまでと何が大きく異なるのでしょうか。そのポイントは 4 つあります。

- 1) 課題遂行のための言語コミュニケーション能力を測る
- 2) レベルが 4 段階から 5 段階に増える
- 3) 「得点等価」を行う
- 4) 「日本語能力試験 Can-do」リスト（仮称）を提供する

全体的に言えるのは、この試験で「どのレベルであれば、日本語を使って具体的に何ができるようになるのか」を明確にしようとしているということです。後で、問題ごとの解説でも触れますが、実際の出題内容や出題形式も、これまで以上に、学習者が実際に遭遇する場面・状況や、そこで必要とされる日本語運用能力を意識したものになっています。

受験者にとって大きいのは、2) のレベルが増えることではないでしょうか。レベルが従来の 4 段階（1 級、2 級、3 級、4 級）から、5 段階（N1、N2、N3、N4、N5）に増え、受験者にとっては選択の幅が広がりました。従来の級との対応ですが、N1 は 1 級よりやや高いレベルまで測れるようになり（合格ラインはほぼ同じ）、本書の読者が主に受験するであろう N2 と 2 級、N4 と 3 級、N5 と 4 級は、ほぼ同じレベルとされています。

N2 は、読む能力では、幅広い話題、易しい評論など、論旨が明解な文章などが理解できるかどうか、また、話の流れや表現意図などを理解することができるかどうかが問われます。聞く能力では、自然な速さの、一定のまとまりのある会話やニュースを聞いて、話の流れや内容、登場人物の関係や要旨などを理解することができるかどうかが問われます。

● 試験科目

試験科目（試験時間）は、次のようになっています。

N1：「言語知識（文字・語彙・文法）・読解」(110分)と「聴解」(60分)

N2：「言語知識（文字・語彙・文法）・読解」(105分)と「聴解」(50分)

N3：「言語知識（文字・語彙）」(30分)と「言語知識（文法）・読解」(70分)と「聴解」(40分)

N4：「言語知識（文字・語彙）」(30分)と「言語知識（文法）・読解」(60分)と「聴解」(35分)

N5：「言語知識（文字・語彙）」(25分)と「言語知識（文法）・読解」(50分)と「聴解」(30分)

2級とN2を比べると、2級では「文字・語彙」(35分)、「聴解」(40分)、「読解・文法」(70分)に分かれていますから、各科目のまとまりが大きくなり、聴解の試験時間が10分も長くなっています。

なお、N1、N2で「言語知識（文字・語彙・文法）・読解」となっているものが、N3、N4、N5では「言語知識（文字・語彙）」「言語知識（文法）・読解」に分かれているのは、これらのレベルの場合は語彙や文法項目が限られているため、ある問題が別の問題のヒントになってしまふことを防ぐため、とされています。

なお、解答はすべてマークシート方式で行われ、口頭能力試験や記述式試験はありません。

● N2の問題内容

N2では、次のような問題が出題されます。（ ）は本誌の対応ページ数です。

1 言語知識・読解

1-1 文字・語彙

1-1-1 漢字読み (p.16)

漢字で書かれた語の正確な読み方を問う問題

1-1-2 表記 (p.22)

ひらがなで書かれた漢字の正確な書き方を問う問題

1-1-3 語形成 (p.28)

ひとつの言葉の前後に漢字などを足して別の意味の言葉をつくる問題

1-1-4 文脈規定 (p.46)

一文の中に入る、文脈から見て適切な語彙を選ぶ問題

1-1-5 言い換え類義 (p.52)

似ている意味の語彙や表現を選ぶ問題

1-1-6 用法 (p.58)

語の適切な使い方をしている文を選ぶ問題

文字・語彙分野では、「語形成」はN2だけにある問題なので、注意しましょう。

1-2 文法

1-2-1 文の文法1 (文法形式の判断) (p.68)

文の内容に合った適切な文法形式を選ばせる問題

1-2-2 文の文法2 (文の組み立て) (p.74)

適切な語順に並べ替えて正しい文を完成させる問題

1-2-3 文章の文法 (p.78)

まとまった文章を読んで、その中で答える文法形式を答えさせる問題

文法分野では、「文の組み立て」「文章の方法」はまったく新しい形式の問題なので、よく慣れておく必要があります。

1-3 読解

1-3-1 内容理解1 (p.88)

200字程度のテキストの内容などが理解できるかを問う問題

1-3-2 内容理解2 (p.94)

500字程度のテキストで因果関係や理由などが理解できるかを問う問題

1-3-4 統合理解 (p.100)

複数のテキスト（合計600字程度）を読み比べて、内容を理解できるかを問う問題

1-3-5 主張理解 (p.110)

評論など900字程度のテキストを読み、筆者の主張や意見などが理解できるかを問う問題

1-3-6 情報検索 (p.120)

700字程度の広告やパンフレットなどの情報素材から必要な情報を探し出させる問題

読解分野では、「統合理解」と「情報検索」はまったく新しい形式の問題なので、よく慣れておく必要があります。